

6 月期相場概況

6 月期の日経平均株価は約 436 円上昇した。期中の高値は 6/12 の日中高値 10,170 円、安値は 6/1 の日中安値 9,491 円。

6 月期の日経平均は、引続き堅調な海外相場と円安の継続を受けて続伸する。年初来高値を更新しさらに、10,000 円の大台を回復した。前期末には節目 9,500 円を超え、ますます地合いは強くなっていった。10,000 円の大台前で 9,800-9,700 の非常に狭い範囲で揉み合い、3 月からの上昇率や様々なテクニカル市場も過熱感を示していると、また米株も頭打ちになっていたことから、調整が近いかとも思われたが、日経平均は値幅調整することなく SQ 週最終日 6/12 には 10,000 円の大台を終値で大きく超えた。しかし上記の理由から 10,000 円台では売り圧力も相当に強く、また海外も軟調であったことから日経平均は再び 10,000 円の大台を割り込み調整を開始、この間の動きは夜間 NY を受けて、小さめのギャップをつけて寄り付いた後は日中の値幅も小さく、仄相場を連想させるような形で 7 営業日かけて 6/24 に 9,500 円近辺まで調整した後、日経は再び強い調子で上昇し、3 営業日後の 6/29 には再び 10,000 円の大台を伺い、翌 6/30 には売り方を踏み上げる形で前回高値に次ぐ 10,080 円まで急騰した。このまま高値更新かと思われたが、6/30 は 14 : 30 から大口の先物売りで一点急落、10,000 円の大台を固めることはできなかった。結局 9,958 円で今期を終えた。

リンカーン・インヴェストメント株式会社